

Hello! FUJISEI

No. 309

厚生労働省の「平成27年人口動態統計月報年計(概数)」によると、平成27年の死因順位別の第1位は悪性新生物(がん)の37万131人でした。

悪性新生物は一貫して上昇を続けており、昭和56年以降死因順位の第1位を続けており、平成27年は全死亡者に占める割合は28.7%で、全死亡者の3.5人に1人は悪性新生物で死亡したことになります。

部位によって症状、治療方法、生存率も違い、重粒子線治療も部位によって有効性は異なります。

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男性の「肺」

主な部位別にみた“がん”

男性は「肺」が断トツ 女性は「大腸」と「肺」

は増加傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成27年の死亡数は5万3170人、死亡率(人口10万対)は87.2となっています。

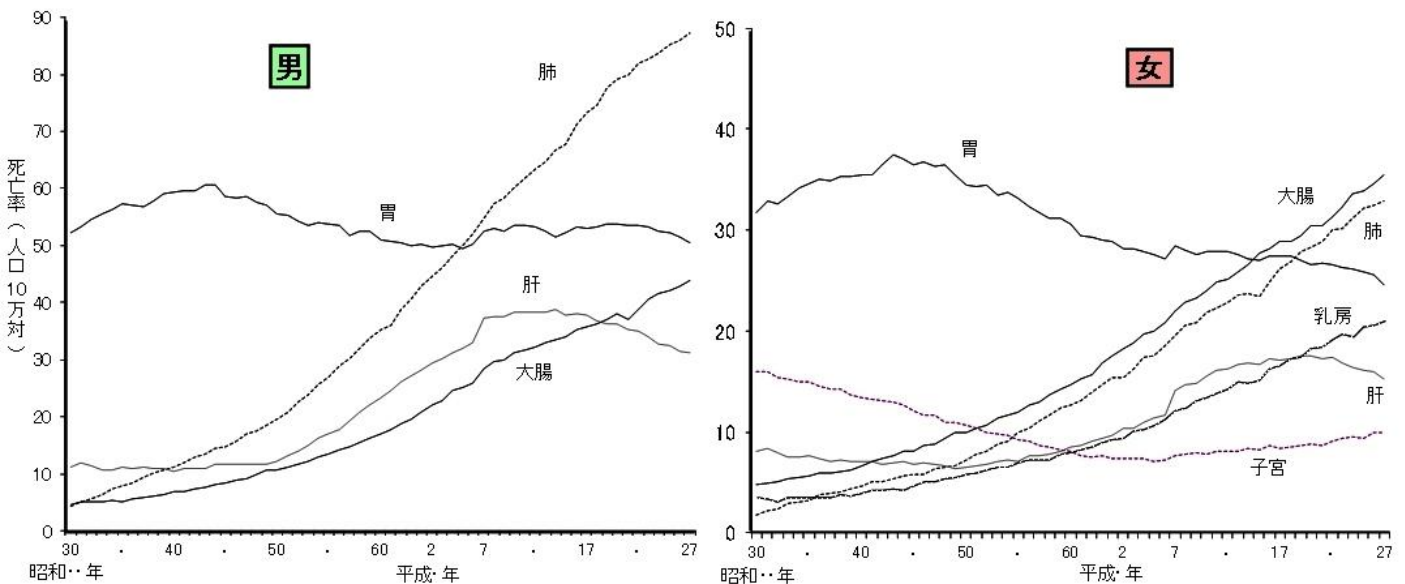
女性の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成27年の死亡数は2万2867人、死亡率は35.5となっています

肺がんの症状には、治りにくいせきや胸の痛み、息切れ、血痰、声がかれなどがありますが、進行しないと症状が出ないことも普通で、手ごわいがんの代名詞とされています。禁煙と早期発見が非常に重要です。

がんのなかで大腸がんによる死亡者数は男性は3位、女性は1位です。食の欧米化に伴って、大腸がんになる人は急増しています。しかし、早期であれば完治が可能で、治癒率の高いがんです。

大腸がんは、がんのできた場所によって直腸がんと結腸がんに分けられます。なかでも直腸やS状結腸にできることが多く、ここにがんができた場合、便の表面に血液や粘液が付く、便が出にくい、便が細くなる、肛門に違和感がある、便秘と下痢をくり返すなどの自覚症状が現れることがあります。しかし、早期にはほとんどが無症状です。

悪性新生物の主な部位別死亡率(人口10万対)の年次推移



厚生労働省「平成27年 人口動態統計月報年計(概数)」

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル